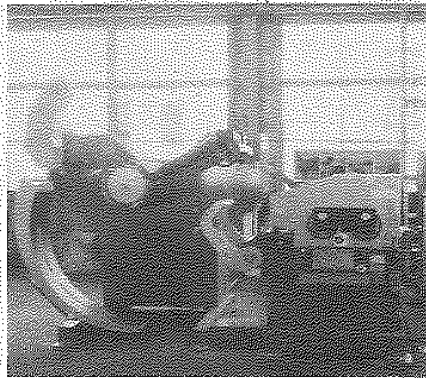


当会会員の北海道内田鍛工(株) (栗山町) が、
平成29年9月20日(水)付の、日刊工業新聞に紹介されました。

自動化ラインを拡充

内田鍛工グループ コスト競争力向上



【津】内田鍛工(U 059・363・12 TK、三重県四日市 13)、九州内田鍛工市、内田洋一郎社長、(佐賀県伊万里市)、

北海道内田鍛工(北海道夕張郡栗山町)のUTKグループは、2020年5月北海道内田鍛工に導入したレベラーフィーダーまでコスト競争力を高めるため、生産ラインの自動化投資を積極的に計画する。一連の投資額は約3億円を計画する。UTKグループは、電力会社向けの架線金具が主力。15年6月にスタートした中期経営計画では価格競争の厳しい受注に対応している。同

くため、作業効率の向上と労働環境の改善を目標に掲げた。北海道内田鍛工は今年8月に2000万円を投じて、レベラーフィーダーを導入した。熟練工の高齢化対策で、自動化システムの導入によって製造現場の人手不足問題を乗り切っていく考え。同

グループでは中型サーボプレス機を組み入れた生産ラインの自動化を拡充しており、「自動化システムの導入で生産能力の増強にもつなげたい」(内田圭一郎北海道内田鍛工社長)としている。